



ピース！

2021（令和3）年11月5日

福山市立日吉台小学校

2年 学年通信

No.16

書く力が付いてきた！！

子ども達は、10月の「書く書く月間」でたくさんの文章を書いてきました。そこで、自分自身でどんな力が付いたと思うか振り返って作文を書きました。

「点や丸の使い方が分かった。」「自分で想像して書くことができるようになった。」「だんだん直しになるところが少なくなってきた。」など、自分の成長を感じることができました。「継続は力なり」です。

今後もついた力を様々な場面でいかしていきますので、お家でも声掛けをよろしくお願ひします。

書く書く月間でついた力

藤本 航太

ぼくが書く書く月間でついた力は、日記を書く力です。なぜかというところはじめてするときには、「や」「の」のつかい方が分からなかったけど、今はだいたい分かるようになりました。「の」のつかい方はさいしょはまちがえただけ、今はそういうなおしは少なくなりました。書く書く月間は今日でおわりだけど、まだ書くことをがんばりたいです。

書く書く月間でついた力

堀 眞咲

わたしが、書く書く月間でついた力は、作文を書く力です。作文がしゅくだいに出て、それがつづいたから作文が前よりもじょうずになったんだなと思いました。まだ、つづいてほしいなと思いました。自分で考えて、自分から書きたいです。

できた作文をお母さんに見せよう、

「すこいね。」

と言われました。前までは、

「ここがちがうよ。」

と言われてばかりでした。でも、だんだんすこいと言われなくなりました。これも力が付いたなと思いました。

書く書く月間でついた力

新田 湊

ぼくが、書く書く月間でみについた力は、前よりいろんなことを頭でイメージできるようになったことです。前は日記を書くのが楽しくなかったけど、今は少しだけ楽しくなりました。これからもいろいろな日記を書いてみたいです。

書く書く月間でついた力

本宮 健有

書く書く月間では、文しようがじょうずに書けるようになりました。さいしょはちよっとめんどうくさかったけど、どんどんめんどうくさくならなくなりました。そして、ぼくは文しょうを書くのが楽しくなって、ますます書けるようになりました。

書いたあとはいい気持ちです。もっと

書きたくなって、作文のしゅくだいが出てほしいと思っています。

まだまだ作文のしゅくだいが

出てほしいです。

